

# 日本舞踊を小・中学校の必修科目にするために

## —花柳佳寿広先生—



「次世代を担う子どもたちに、日本文化を伝えていきたい」そんな熱い思いを胸に、立ち上がった一人の舞踊家があります。それが、今回ご紹介する花柳佳寿広先生です。



花柳 佳寿広 先生

## 大切な日本文化を守りたい

**編集部** 先生が次世代の子どもたちに日本文化を残したいと思われたきっかけを教えてください。  
**花柳佳寿広(以下、佳寿広)** 地元・山口県の下関には、毎年五月三日に先帝祭というお祭りがあり、下関舞踊協会がお世話していますが、祭りの目玉である上臈道中では名取が太夫、子どもが稚児や警固などのお役をします。ひと昔前は、順番待ちをしてくじを引かないと出られないくらいのお弟子さんがいましたが、今では新名取さえ毎年いるかいないかです。舞踊を習う子どもを増やさないといいませんが、舞踊はお金がかかるというイメージが固定されていて習う子どもが少くない。

何人かの先生は幼稚園や小学校に教えに行ったりしていますが、子どもたちの中で名取まで続くのはほんの一握りです。このままでは大切な日本文化を次世代の子どもたちに継承できなくなってしまう。もっとたくさんの子どもたちに日本文化の良さを伝え、興味や関心を持ってもらいたい。今しなくては手遅れになってしまうと思いました。

**編集部** そういう現状を打破できるような方法はあるのでしょうか。  
**佳寿広** 小中学校で日本舞踊が必修科目として取り入れられるようになれば、舞踊人口は増えるはずですね。折しも、私が日本舞踊協会山口県支部長になったタイミングで、日本舞踊協会会長の國分正明氏をはじめ、各お家元様と、安倍総理大臣・下村文部科学大臣に「学校教育に日本舞踊を取り入れてほしい」という要望書を提出しました。その時に安倍総理



先帝祭

が「うん、日本舞踊は大切だね。古典はぜひ残さないといけない」と言ってくれました。ただ、安倍総理も日本舞踊というのが大変手間がかかるものというのはご存じですから「日本舞踊が必修科目になったら、どなたが教えるのですか」と聞かれたところ、日本舞踊協会が「全国に教えられる人が五千人程おられます」と答え、安倍総理も「じゃあいいね」とおっしゃいました。安倍総理の了解はとれました。

ので、次は私たちが動いて実績をつくる段階にきているのです。  
**編集部** 実績とは具体的にどのようなものなのでしょう。  
**佳寿広** 本年度、日本舞踊協会に全面的に協力いただい

て、文化庁の「文化芸術による子供の育成事業―芸術家の派遣事業―」という助成金を利用しました。これは、小中学校等で、子どもたちに向けて文化芸術を鑑賞・体験してもらうことを目的としています。

助成金申請の実務は私が担当しました。今回、この文化庁の派遣事業を舞踊で申請するのは、下関市はもちろん、山口県では初めてのことで、前例がなく大変でした。昨年の春くらいにまず先生が日本舞踊協会の山口県支部長として、山口県知事さんをお願いにありがとうございました。その後、山口県教育委員会教育長、下関市長、下関教育委員会委員長へもご挨拶に参りました。

**編集部** 他県でこうした取り組みをする場合も、日本舞踊協会の県支部長が直々に、県や市町村、教育委員会へ挨拶すべきでしょうか。

**佳寿広** 必要だと思います。私たちが要望書を出してからご挨拶に伺いました。

要望書は私たちの方で既に提出しているものがありま

平成26年7月24日

山口県知事  
村岡嗣政殿

公益社団法人  
日本舞踊協会山口県支部  
支部長 花柳 佳寿広

日本舞踊の普及、継承活動にご支援を（陳情）

盛夏の候を迎え、貴職におかれましては、山口県の発展・活性化のため、全力を傾注されておられますことにより心よりご慰労申し上げますとともに、平素より、日本舞踊につきましてご理解・ご支援を賜っておりますことに、衷心より感謝申し上げます。

日本舞踊は、現代人の心の糧として欠くことの出来ない人間性を豊かに培い、人間の夢を育て、情感を高める日本の伝統的な芸術、文化であり、日本舞踊協会といたしましても、平素より、日本舞踊の普及、継承に努力を続けているところであり、昨年11月27日には、日本舞踊協会（会長・国分正明）より安倍総理、下村文部科学大臣に面談のうえ、日本芸術文化の普及、継承のため、「学校教育に日本舞踊を」について要望を申し上げたところでございます。

このたび、上記の活動の主旨を踏まえ、山口県支部におきまして、別添資料のとおり、山口市において日本舞踊講習会の開催を企画いたしました。

つきましては、貴職に開催内容等をお知らせ申し上げますとともに、今後とも、当支部の活動につきまして、特段のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。陳情申し上げます次第でございます。

結びにあたり、貴職のいっそうのご活躍、ご隆盛を心よりご祈念申し上げます。

すので、それを元にしてお作りになったらよろしいですよ。（※1）

**編集部** 日本舞踊協会の県支部がないところは どうしたらよいのですか。

**佳寿広** 日本舞踊協会に加入されているのなら本部にお願いしたらいいと思います。もちろん、トップが動かない県支部もあるでしょうが、他の県支部が動くとも意識も変わってくるはずですよ。

**編集部** 日本舞踊協会に加入していない先生の中で、賛同する人が現れたらどのように対応されますか。

**佳寿広** もちろん加入されていない先生でもご

※1

賛同いただける先生なら大歓迎です。「会員でないなら私たちは知りません」ということもないですし、どなたがなさろうと協力したいと思っています。やり方が分からないという人がいたら、こちらから出向いてお教えします。

## 文化庁の派遣事業の流れ

**編集部** 文化庁の派遣事業について詳しくお聞かせください。

**佳寿広** この事業は文化庁から募集があり、県から各市町村の教育委員会、市町村から各学校へお知らせがきます。申込みは、今度は学校から市町村の教育委員会へと続き、最終的に県が文科省に申請するという流れになります。十二月に入ってから募集があり、締め切りは十二月後半とタイトです。文化庁で最終審査があつて助成金の合否発表は三月です。

**編集部** これから申請を検討する人にアドバイスはありますか。

**佳寿広** 実際に教育委員会や学校にお願いがあつて、感じたことはPTAが大事ということ。幼稚園、小学校、中学校の役員をされているお弟子さんをお持ちの方、または習われているお子さんのご両親がPTAの役員をされているなら、その方から「今、他の学校でこういうことをしていますので、うちの学校にも呼んでください」とまず学校長にお願いしてもらってください。同窓会の会長さんで

もいいです。ロコミによって、学校側から動くことが大事なのです。

ロコミの効果は絶大です。一番初めに派遣事業で伺った学校の校長先生が熱心な方で、校長会



文化庁派遣事業(下関市立文関小学校)H26.12.18

議で派遣事業のことを話してください。」「ぜひうちにも来てほしい」という学校からの依頼が一気に五校も入ってきました。学校公演の様子がテレビで取り上げられたら、徳山の学校から「うちにもぜひ来てください」と直接電話がかかってきたこともあります。テレビ、新聞、校長先生、PTAのロコミ、いろんなところから輪が広がっているのを感じます。

**編集部** 本年度は小学校四校の派遣事業の助成金が下りたそうですね。

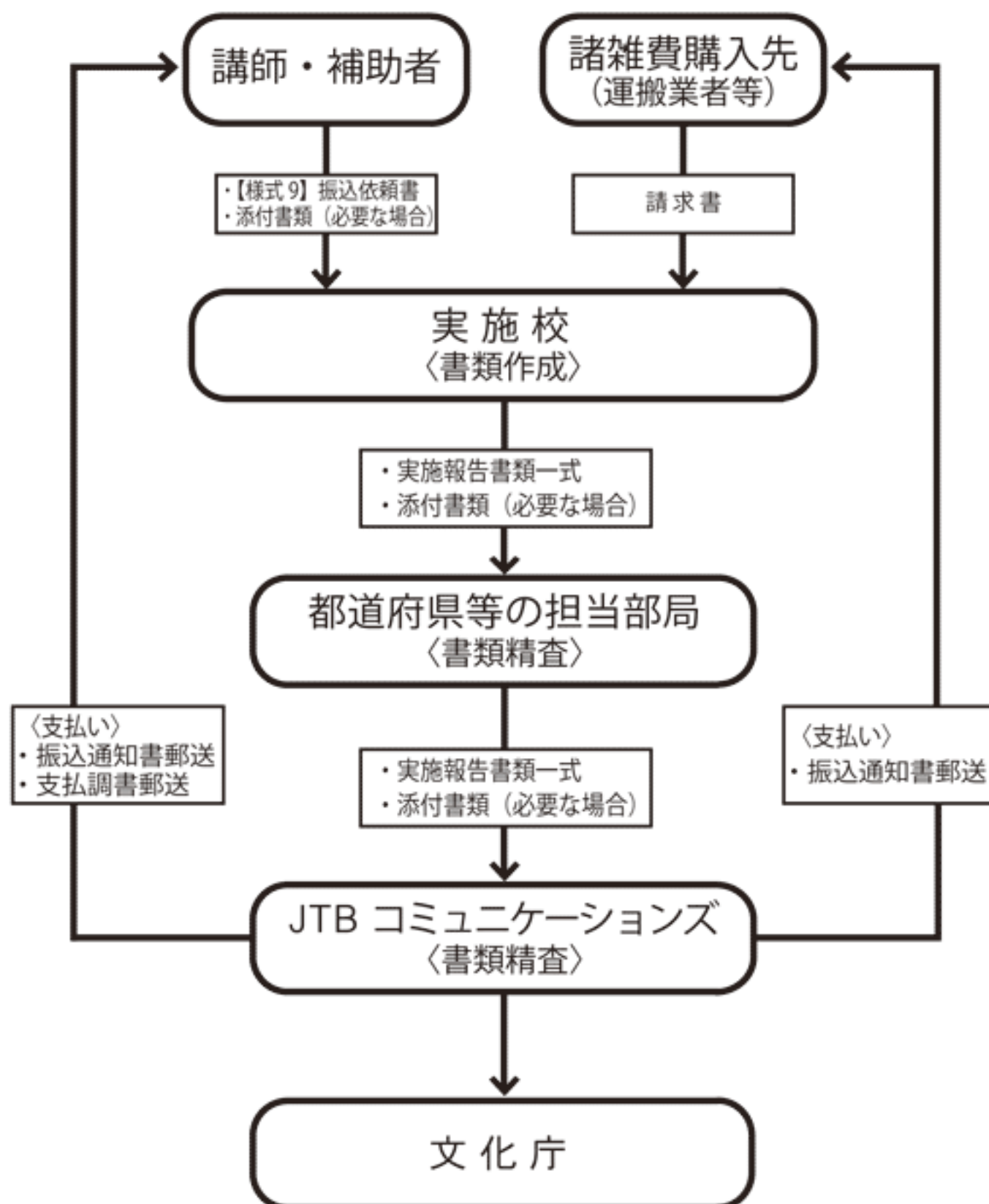
**佳寿広** 本年度の四校は、平成二十六年度の補正予算の方で助成金がありました。助成金が下りる前に、学校側と打ち合わせをし、日程を決めなくてはなりません。教育委員会の方から「助成金が下りなかった場合はどうされますか」というお尋ねがあったのですが、役員の皆さんに相談して「予算がつかなくてもやりましょう」ということ

になりました。**編集部** 平成二十七年度も派遣事業のご予定はありますか。

**佳寿広** 平成二十七年度は下関の小学校で四校申請を出していて、予算の可否は三月に分かります。平成二十七年度の申請はもう締め切られましたが、岩国市と山口市、宇部市と大島の先生方が派遣事業にぜひ参加したいと言われたので、現在、平成二十七年度の九月の補正予算に向けての準備をしています。今後、参加を検討されているところは、平成二十七年度の補正予算から申請してみるのも良いかもしれません。

ただし、補正予算は募集が必ずあるとは限りませんし、募集から一週間くらいで申請を出さなくてはならないので非常にタイトです。たまたま台がありま

### 文化庁派遣事業助成金申請の流れ



ただければ楽ですよ。難しく考えず、一度やってみることで。フォーマットは同じなので、一度やってみれば使いまわしができますから。

### 派遣事業の内容について

**編集部** 派遣事業では具体的にこういったことをされていますか。

**佳寿広** まずは学校とすり合わせて、何年生が対象で、割り当てられる時間が一コマなの

かニコマなのかを確認します。舞踊鑑賞と体験は必ず入れていますが、子どもたちは十五分以上観るのは無理なので、鑑賞、演技はダイジェストにしています。教える生徒が大人数のときは、東京から先生をお呼びしていますが、これは地元の先生ではまだ経験が足りないので、東京の先生を呼んで勉強してもらおうというのが狙いです。日本舞踊協会にお願いしたら、東京の先生を派遣してくださいませよ。体験では「村祭」という演目を必ず入れています。体操服でバチをもって踊りますが、子どもたちの目が輝いています。

**編集部** 派遣事業は必修科目への足掛かりになるのでしょうか。

**佳寿広** 派遣事業が下関だけでなく、全国に広がっていけば変わります。今回の下関をモデルケースにして、他の所でもぜひこの方法を広めてください。下関で終わってしまったてはいけません。少しずつでも広がったら、次の段階にいけます。次世代の舞踊家たちのためにも、舞踊人口を増やさなければなりません。日本舞踊を学校教育に取り入れて、日本舞踊の人口を増やしましょう。

## 日本舞踊の素晴らしさを 多くの人たちに伝えたい

**編集部** 派遣事業以外にも注力なさっていることはありますか。

**佳寿広** 現在、今年九月二十七日に開催する舞踊

会に向けて準備をしています。地方で地方（じかた）の会ができる先生はほんのわずかです。だから私はあえてやりたい。舞踊会では、子どもたちを無料で出演させ、大舞台の感動を伝えたいと思います。地方（じかた）の中で、五十人くらいの子どもたちが浴衣姿で踊ります。ぜひ、多くの皆さんに観ていただきたいですね。東京で活躍中の舞踊家の方も特別出演します。四月からお母さんたちに向けた舞台化粧や浴衣の着付けの講習会も開く予定です。実は、この舞踊会も文化庁に助成金申請をしています。舞踊会に先立って、平成二十六年の八月に日本舞踊講習会を開きました。講習会で使う曲を日本舞踊協会に考えてもらえないかと打診したところ、大和楽三味線の家元・大和櫻笹さん作曲、西川扇与一師匠振付で四曲ほど提供していただきました。この時に考えていただいた「村祭」は、派遣事業の時にも使っています。もし他の方で使いたい方がいらっしゃれば、日本舞踊協会にお問い合わせしてみたらいいですよ。

**編集部** 会の開催が待ち遠しいですね。

**佳寿広** 舞踊会の他にも、先帝祭には各流派の名取さんが五人、太夫として出る予定ですが、三年前から私の発案で「日本舞踊協会」という母体があるのだから他の会員さんとも交流しましょうということになり、下関以外からも出演いただく交流枠をつくっています。練習など交通費のご負担がかかるのであまり遠いところは難しいかもしれませんが、地域問わずに日本舞踊協会の方であ

れば全国どこの方でも出ていただきたいです。様々な活動を通して、日本舞踊の素晴らしさを伝えていきたい。東京オリンピックでも日本舞踊を取り上げて欲しいですね。

※文化庁の派遣事業の申請法等のご相談はこちらまで

日本舞踊協会 山口県支部 支部長

花柳佳寿広

TEL 〇八三二二二二二二一八〇七

FAX 〇八三二二六六八一〇五

kazuhiro@seikou1955.jp

オフィス・キュー

TEL 〇九四二二二二二二一五七二一

FAX 〇九四二二二二二二〇〇一九

office-cue@mx51.tiki.ne.jp

日本舞踊協会山口県支部・下関舞踊協会共催  
『古典舞踊の会』

平成二十七年九月二十七日(日)十時開演

於・下関市民会館大ホール

チケット代 五千円